

平成25年度第1回豊山町地域公共交通会議議事録（要旨）

1 開催日時 平成26年3月25日（火）午前10時～正午

2 開催場所 豊山町役場2階 会議室1

3 出席者

(1) 豊山町地域公共交通会議委員

豊山町長	鈴木 幸 育
あおい交通(株)代表取締役	松 浦 秀 則
名鉄バス(株)運輸部長兼運輸計画課長	加 藤 直 樹
名古屋市住宅都市局都市計画部交通企画課主査	松並 耕 (代理)
名古屋タクシー協会副会長	中 三 川 政 美
豊山町老人クラブ連合会元地区委員	伊 藤 千 歳
豊山町心身障害者福祉協会役員	河 村 君 枝
中部運輸局愛知運輸支局運輸企画専門官	吉川 卓 (代理)
西枇杷島警察署交通規制係警部補	太 田 英 一
あおい交通(株)運行課長	工 藤 彰 郎
愛知県地域振興部交通対策課主査	磯谷 隆幸(代理)
名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻准教授	加 藤 博 和
豊山町総務部長	近 藤 鎮 彦

(2) 欠席者

尾張建設事務所維持管理課長	林 由紀夫
公益社団法人愛知県バス協会専務理事	古田 寛

(3) 事務局

豊山町理事	崎 下 雅 司
豊山町総務部総務課長	小 川 徹 也
豊山町総務部総務課企画財政・情報係長	高 橋 公 仁
豊山町総務部総務課企画財政・情報係	福 山 祐 介

4 議 題

報告事項

(1) 本町の地域公共交通の現況について

協議事項

(1) 地域公共交通総合連携計画の進捗状況と今後の取組（案）並びに一部改正（案）について

(2) 平成26年度事業計画について

5 資 料

- ①平成25年度豊山町地域公共交通会議次第
- ②本町の公共交通の現況について（資料1）
- ③平成25年度地域公共交通総合連携計画の進捗状況（資料2）
- ④平成26年度地域公共交通総合連携計画の取組（案）（資料3）
- ⑤地域公共交通総合連携計画の新旧対照表（案）（資料4）
- ⑥地域公共交通総合連携計画（第2次）策定調査について（資料5）
- ⑦平成26年度地域公共交通確保維持時改善事業費補助金（地域公共交通調査事業）
交付申請書（案）（資料6）
- ⑧地域協働推進事業について（資料7）
- ⑨地域協働推進事業計画認定申請書（案）（資料8）
- ⑩平成26年度豊山町地域公共交通会議予算（案）（資料9）

6 あいさつ

- ・総務課長（司会）より開会のあいさつ
- ・町長（会長）よりあいさつ

【 会 長 】 現在、本町では人口増が著しく、人口も1万5千人を超えた。航空機の生産拠点プロジェクトの関係で、今後も大きく様変わりするはずである。本町の魅力は高速道路を含めたアクセスの良さだが、今後は交通渋滞が大きな課題となってくる。快適な街づくりのため、皆様のご協力を賜りたい。

7 議 事

- ・配布資料の確認
- ・会議を原則として公開することの確認
- ・議長は会長（町長）が行うことの確認

【 会 長 】 報告事項の（1）本町の地域公共交通の現況について、事務局より説明を求める。

【 事 務 局 】 （資料に基づき説明）

【 会 長 】 ただいまの報告について、ご意見やご質問はないか。

【 各 委 員 】 （特になし）

【 会 長 】 それでは、協議事項の（1）地域公共交通総合連携計画の進捗状況と今後の取組（案）並びに一部改正（案）について、事務局より説明を求める。

【 事 務 局 】 （資料に基づき説明）

【 会 長 】 ただいまの報告について、ご意見やご質問はないか。貴重な機会であるので、順次発言をお願いしたい。

【 A 委 員 】 第4次総合計画後期計画策定のためのアンケートの中で、公共交通に関していろいろ要望が出ていた。事務局から発表してもらいた

- い。
- 【事務局】 アンケートをみると、やはり公共交通に不便を感じている方が多い。ただし、前回に比べると割合は減少している。主な要望としては、路線数や夜の便を増やしてほしいなどがある。次年度の計画づくりにいかしたいと考えている。
- 【B 委員】 連携計画と事業の名称を一致させる必要がある。また、とよやまタウンバスを運行したこと自体も事業なのでこれも記載する必要がある。さらに、国・愛知県の補助を使ったのであればそれも記載する必要がある。
- 【C 委員】 地域協働推進事業を活用いただいて、町民の意見を取り入れた公共交通MAPを作してほしい。
- 【D 委員】 最近は豊山町だけでなく、町外からの問い合わせも多くなった。また、北ルートの乗客減少が気になっている。改善策が必要である。
- 【E 委員】 北ルートの減少要因は何かあるのか？
- 【事務局】 現在積み残しはないが、以前は積み残しが多かった。このことが利用率の低下の一因だと考えている。ただ、その他にも要因はあると思われるので、ルートの変更を含めて抜本的な改善策を検討する必要がある。
- 【F 委員】 要望として、土日のバスの時間帯の延長を検討してほしい。
- 【G 委員】 勝川便において、総合福祉センターひまわりの近くでバス停を新たに設置してほしい。
- 【H 委員】 先ほど説明のあった公共交通PR事業でのバスの乗り方PRについて。参加していただいた方はバスに乗ったことのある方が多いと聞いたが、なぜ乗り方をPRする必要があるのか。
- 【事務局】 単に乗り方を説明するだけでなく、バスに乗って行ける名駅周辺の観光名所などを紹介した。バスに乗って、元気になってほしいとの趣旨である。ただ、この事業に関しては、事務局としても今後どうしていくか検討課題である。
- 【I 委員】 交通渋滞を懸念している。公共交通の利用促進だけでなく、うまく公共交通を運行させるという観点も重要である。運行面でも改善策を検討してほしい。
- 【J 委員】 豊山町の人口増への対応が検討課題である。町内を走っているタクシーが少ないので、バスだけでなくタクシーの運行も取り組みたい。あわせてデマンド交通も検討したい。平成28年度は小牧市民病院で大規模な建て替えがある。通院者も増えると予想されるのでこの需要にあわせて、今後様々な策を検討したい。
- 【B 委員】 デマンドは良い事例も良くない事例もあるので、よく検討する必要がある。個人的には、小牧駅とのルートを検討するとよいのではと考えている。次の計画策定時の課題である。また、次年度やるべきことが具体的に進んでいない。資料3をもう少し具体的に記載してほしい。

- 【事務局】 了解した。
- 【会長】 それでは、協議事項（２）平成２６年度の事業計画について、事務局より報告を求める。
- 【事務局】 （資料に基づき説明）
- 【会長】 ただいまの報告について、ご意見や質問はないか。
- 【Ｂ委員】 豊山町の場合、需要の増加に対応して、新規路線の参入が考えられる。参入する場合、事業者は運輸局に申請する。この会議で話し合っても、知らないうちに新規参入される場合がある。再編実施計画を策定すれば、窓口が豊山町になる。この会議で議論できることになるので、良いのではないかと考えている。関連して聞くが、協議会補助は実施しないということによいか。
- 【事務局】 実施しない予定である。
- 【Ｂ委員】 平成２７年度以降、協議会補助にするとメリットが出てくる。検討してほしい。また、計画の作成スケジュールはどうなっているのか。あわせて記入してほしい。
- 【事務局】 まだ、計画段階だが、平成２７年の１０月を再編後の運行計画のはじまりと考えている。あらためて、スケジュール表は提示したい。
- 【Ｂ委員】 地元の警察との調整など、いろいろ協議が必要であるためスケジュールの策定は重要である。また、言いそびれたが、地域協働推進事業は町民委員の意見が不可欠である。ぜひ主体的に取り組んでいただきたい。
- 【事務局】 了解した。
- 【会長】 以上をもって、提案した議題の審議を終わらせていただきたい。
- 【司会】 協議事項のほかにも、何かご意見などがあつたらお伺いしたい。
- 【各委員】 （なし）
- 【司会】 事務局からは何かないか。
- 【事務局】 ありません。
- 【司会】 以上で平成２５年度第１回豊山町地域公共交通会議を終了する。